

管轄森林管理局・署	関東森林管理局 中越森林管理署
所在地	新潟県 南魚沼郡 湯沢町
面積	3,953.53ha
設定年	1992(H4)年
保護林の概要 (設定目的)	佐武流山周辺は、日本海側の森林植生から太平洋側の森林植生への推移帯にある原生的な森林により構成され、標高差も1,340mあることから、植物相、植生ともに豊富である。亜高山帯ではオオシラビソを主体にした森林とチシマザサの風衝草原や自然低木群落が、山地帯ではコメツガ、トウヒ、クロベなどの針葉樹林とブナ林が分布している。このため、これらの原生的な森林生態系を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に資するため設定する。



モニタリング調査概要

実施年度	2011年、2016年、2021年
調査項目	樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等
調査手法	森林詳細調査として、オオシラビソ群落、ブナーミズナラ群落、クロベ群落、亜高山低木群落の生育地において調査プロットを計7箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。動物調査として、調査プロットまでの経路に1つの調査ルートを設定し、保護林内における出現種を把握。
結果概要	森林調査、動物調査について、前回調査と比較し特に変化は確認されなかった。風害等の影響とみられる幹折れや倒木が散見されるものの、鳥獣害や病虫害は見られず、良好な状態で維持されている。